【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】令和7年2月18日(2025.2.18)

【公開番号】特開2022-132142(P2022-132142A)
【公開日】令和4年9月7日(2022.9.7)
【年通号数】公開公報(特許)2022-165
【出願番号】特願2022-22191(P2022-22191)
【国際特許分類】
Ｇ０３Ｇ　5/10(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０３Ｇ　5/10　　Ｂ

【手続補正書】
【提出日】令和7年2月6日(2025.2.6)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
円筒状の支持体及び該支持体上に形成された感光層を有する電子写真感光体において、
該支持体が、アルミニウム及びアルミニウム合金の少なくとも一方を含有し、
該支持体の表面のアルミニウムの結晶粒の面積分布曲線から算出される最大頻度時の面積をＡ（μｍ^2）とし、該面積分布曲線における最大ピークの半値幅をＢ（μｍ^2）としたとき、該支持体が、下記式（１）を満たすことを特徴とする電子写真感光体。
Ｂ／Ａ≦１．０　　式（１）
【請求項２】
前記面積分布曲線から算出されるアルミニウムの結晶粒の平均面積が、１０μｍ^{2}以上である請求項１に記載の電子写真感光体。
【請求項３】
前記支持体が、下記式（３）を満たす請求項１又は２に記載の電子写真感光体。
Ｂ／Ａ≦０．５　　式（３）
【請求項４】
前記支持体が、ケイ素元素を０．６質量％以下、鉄元素を０．７質量％以下、銅元素を０．０５質量％以上０．２質量％以下、マンガン元素を１．０質量％以上１．５質量％以下、亜鉛元素を０．１質量％以下含み、かつ残部としてアルミニウム及び不純物を含むアルミニウム合金からなる支持体である請求項１～３のいずれか１項に記載の電子写真感光体。
【請求項５】
前記支持体が、ケイ素元素を０．２質量％以上０．６質量％以下、鉄元素を０．３５質量％以下、銅元素を０．１質量％以下、マンガン元素を０．１質量％以下、マグネシウム元素を０．４５質量％以上０．９質量％以下、クロム元素を０．１質量％以下、亜鉛元素を０．１質量％以下、チタン元素を０．１質量％以下含み、残部としてアルミニウム及び不純物を含むアルミニウム合金からなる支持体である請求項１～３のいずれか１項に記載の電子写真感光体。
【請求項６】
前記支持体が、ケイ素元素を０．６質量％以下、鉄元素を０．７質量％以下、銅元素を０．０５質量％以上０．２質量％以下、マンガン元素を１．０質量％以上１．５質量％以下

、亜鉛元素を０．１質量％以下含み、残部としてアルミニウム及び不純物を含むアルミニウム合金からなる支持体である、
又は、
前記支持体が、ケイ素元素を０．２質量％以上０．６質量％以下、鉄元素を０．３５質量％以下、銅元素を０．１質量％以下、マンガン元素を０．１質量％以下、マグネシウム元素を０．４５質量％以上０．９質量％以下、クロム元素を０．１質量％以下、亜鉛元素を０．１質量％以下、チタン元素を０．１質量％以下含み、残部としてアルミニウム及び不純物を含むアルミニウム合金からなる支持体である請求項１～３のいずれか１項に記載の電子写真感光体。
【請求項７】
請求項１～６のいずれか１項に記載の電子写真感光体と、帯電手段、現像手段、及びクリーニング手段からなる群より選択される少なくとも１つの手段と、を一体に支持し、電子写真装置の本体に着脱自在であるプロセスカートリッジ。
【請求項８】
請求項１～６のいずれか１項に記載の電子写真感光体と、帯電手段、露光手段、現像手段、及び転写手段からなる群より選択される少なくとも１つの手段とを有する電子写真装置。